

令和4年度 学校教育方針・経営方針

長岡京市立長岡第三中学校

教育目標

「主体的に学ぶ力」「豊かにつながる力」「たくましく生きる力」の育成

目指す生徒像

- ① 自らを尊び、自己実現のために、意欲的に学ぶ生徒
- ② 人を思いやり、人とつながることを大切にする生徒
- ③ 公共の精神を尊び、学級や学校、地域社会に主体的に参画する生徒

目指す教師像

- ① 教育実践力を身につけるために、自ら学ぶ意欲と向上心を持ち続ける教師
- ② コミュニケーション能力を鍛え、生徒や保護者、同僚、地域の人から信頼される教師
- ③ 組織人として、連携・協働を重んじ、自らの役割を自覚し、主体的に行動する教師

スローガン

「つながり」の中で一人一人の「よさ」が活かされ、高められる学校
～明日を創る学校をめざして～

本年度の重点	企画・推進中心組織
① 生徒指導・教育相談実践力を高め、人間関係形成力と集団形成力を育てる学級づくりを推進する。	生徒指導部、教育相談部 特別活動部、各学年
② 思考・判断・表現する力を育成する授業改善に努め、生徒が主体的に取り組む学習活動を推進する。	学習指導部、道徳教育部 特別活動部、各教科 各学年
③ 学習成果の掲示・展示や朝読書等を通して学習環境を整え、生徒の学ぶ意欲の向上と学習習慣の確立を図る。	図書館教育部 各学年、各教科
④ 生徒の個性や能力を引き出し、協働的な活動の中に教育的価値をつくり出す行事の取組と部活動の充実を図る。	特別活動部、各学年
⑤ 家庭や地域への積極的な情報発信と、家庭や地域、校区小学校との絆づくりを推進する。	各学年、各指導部 各教科

学校経営方針

- (1) 学習指導要領や長岡京市教育委員会学校教育の重点等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 生徒の実態に応じた指導方法の工夫・改善を図り、生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。
個別的な学びと協働的な学びを軸とした授業改善（主体的・対話的で深い学びにつながる授業）
ICT（タブレット）を活用した授業の推進
- (3) 生徒理解を基盤として生徒指導・教育相談の充実を図るとともに、特別支援教育の視点に立ち、生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導により、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- (4) 道徳の時間の充実を図り、生徒一人一人の道徳的実践力の育成に努める。
- (5) 健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康に生活していくための基盤づくりに努める。
- (6) 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進し、社会的・職業的自立に必要な資質・能力の育成に努める。
- (7) 事務の効率化や簡略化を図り、生徒に向き合う時間の確保と教職員の負担軽減に努める。
- (8) 児童生徒の9年間の成長を見通した小中連携の推進に努める。
- (9) 家庭や地域社会との連携を一層深め、よき伝統や地域の特色、教職員の創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進に努める。
- (10) 積極的な情報発信により、信頼される学校づくりの推進に努める。